



2017年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2016年7月27日

上場会社名 山洋電気株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6516 URL http://www.sanyodenki.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 山本 茂生
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理部門担当 (氏名) 田母神 観一郎 (TEL) (03)5927-1020
 四半期報告書提出予定日 2016年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2017年3月期第1四半期の連結業績(2016年4月1日～2016年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2017年3月期第1四半期	17,895	△13.1	1,043	△32.3	774	△53.9	556	△52.5
2016年3月期第1四半期	20,596	△15.5	1,540	△29.7	1,679	△24.9	1,171	△31.3

(注) 包括利益 2017年3月期第1四半期 △289百万円(△117.2%) 2016年3月期第1四半期 1,685百万円(13.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2017年3月期第1四半期	9.06	—
2016年3月期第1四半期	18.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2017年3月期第1四半期	85,061	50,738	59.6	829.69
2016年3月期	84,945	52,099	61.3	838.80

(参考) 自己資本 2017年3月期第1四半期 50,732百万円 2016年3月期 52,092百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2016年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
2017年3月期	—	—	—	—	—
2017年3月期(予想)	—	9.00	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2017年3月期の連結業績予想(2016年4月1日～2017年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	39,300	△2.7	2,900	△4.7	2,900	△7.7	2,000	2.1	32.71
通期	82,300	2.5	6,700	25.4	6,700	24.4	4,600	24.8	75.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、2016年5月25日開催の取締役会決議に基づき、自己株式957,000株の取得を行っています。これにより2017年3月期の連結業績予想における「1株当たり当期純利益」につきましては、当該自己株式取得を考慮して調整しています。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) , 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2017年3月期1Q	64,860,935株	2016年3月期	64,860,935株
② 期末自己株式数	2017年3月期1Q	3,714,634株	2016年3月期	2,757,424株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2017年3月期1Q	61,465,371株	2016年3月期1Q	62,110,607株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、円高の進行や、中国をはじめとする新興国経済の減速などの影響により、停滞が続きまして。

そのような中で、当社グループの主要な販売市場である工作機械、ロボット、半導体製造装置などの設備産業業界においては、需要が減少しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における連結売上高は17,895百万円（前年同期比13.1%減）となり、連結営業利益は1,043百万円（前年同期比32.3%減）、連結経常利益は774百万円（前年同期比53.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は556百万円（前年同期比52.5%減）となりました。

受注高は18,328百万円（前年同期比10.8%減）、受注残高は12,338百万円（前年同期比2.7%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

①日本

日本には、当社および連結子会社の山洋工業株式会社、山洋電気テクノサービス株式会社があります。セグメント売上高は17,848百万円（前年同期比12.5%減）となり、セグメント利益は499百万円（前年同期比57.0%減）となりました。

②北米

北米には、連結子会社のSANYO DENKI AMERICA, INC. があります。セグメント売上高は2,557百万円（前年同期比16.8%増）となり、セグメント利益は206百万円（前年同期比218.8%増）となりました。

③ヨーロッパ

ヨーロッパには、連結子会社のSANYO DENKI EUROPE S.A. およびSANYO DENKI GERMANY GmbHがあります。セグメント売上高は1,161百万円（前年同期比4.8%減）となり、セグメント利益は75百万円（前年同期比11.2%減）となりました。

④東アジア

東アジアには、連結子会社の山洋電気（上海）貿易有限公司、山洋電気（香港）有限公司、台湾山洋電気股份有限公司、SANYO DENKI KOREA CO., LTD. および山洋電気（上海）貿易有限公司の子会社である上海山洋電気技術有限公司、山洋電気（香港）有限公司の子会社である山洋電気貿易（深圳）有限公司、中山市山洋電気有限公司、山洋電気精密機器維修（深圳）有限公司があります。セグメント売上高は3,113百万円（前年同期比16.0%減）となり、セグメント利益は7百万円（前年同期比95.4%減）となりました。

⑤東南アジア

東南アジアには、連結子会社のSANYO DENKI PHILIPPINES, INC., SANYO DENKI SINGAPORE PTE. LTD., SANYO DENKI INDIA PRIVATE LIMITED およびSANYO DENKI SINGAPORE PTE. LTD. の子会社であるSANYO DENKI (THAILAND) CO., LTD. があります。セグメント売上高は4,010百万円（前年同期比4.7%減）となり、セグメント利益は102百万円（前年同期比313.7%増）となりました。

また、事業部門別の営業概況は次のとおりです。

①クリーニングシステム事業

クリーニングシステム製品「San Ace」は、データセンタ用サーバなどの情報通信向けや、ファクトリーオートメーション業界のインバータ向けの需要が増加しました。一方、太陽光発電用パワーコンディショナ向けの需要が減少しました。

その結果、売上高は5,512百万円(前年同期比2.3%増)、受注高5,359百万円(前年同期比0.2%減)、受注残高3,044百万円(前年同期比4.5%増)となりました。

②パワーシステム事業

パワーシステム製品「SANUPS」は、太陽光発電の固定価格買取制度に起因する市場の低迷により、パワーコンディショナの需要が減少しました。一方、エネルギー管理指定工場向け無停電電源装置の需要の一部に、活気が見られました。

その結果、売上高は1,682百万円(前年同期比20.5%減)、受注高2,208百万円(前年同期比27.4%減)、受注残高2,786百万円(前年同期比13.2%減)となりました。

③サーボシステム事業

サーボシステム製品「SANMOTION」は、中国市場の低迷により、国内外の工作機械や射出成形機向けの需要が停滞しました。一方、半導体製造装置およびロボット向けの需要は、堅調に推移しました。

その結果、売上高は8,679百万円(前年同期比19.3%減)、受注高8,869百万円(前年同期比9.7%減)、受注残高5,085百万円(前年同期比3.8%減)となりました。

④電気機器販売事業

産業用電気機器、制御機器および電機材料の販売のうち、海外向けの太陽光発電用制御盤の需要は大きく減少しましたが、医療機器向けの需要が回復基調となり、また一般産業向けも堅調に推移しました。

鉄鋼関連事業においては、老朽化した生産設備機器の更新需要は堅調に推移しました。

その結果、売上高は1,391百万円(前年同期比20.7%減)、受注高1,376百万円(前年同期比17.1%減)、受注残高778百万円(前年同期比37.0%増)となりました。

⑤電気工事事業

製鉄所内における工場設備の更新工事および補修工事は、計画どおりに実施されました。

一方、太陽光発電設備の工事は、太陽光発電の買取価格の低下の影響により受注、売上とも減少しました。

その結果、売上高は629百万円(前年同期比9.7%増)、受注高514百万円(前年同期比22.5%減)、受注残高643百万円(前年同期比9.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末における財政状態は、前連結会計年度末と比較して、総資産で115百万円の増加、負債で1,476百万円の増加、純資産では1,360百万円の減少となりました。

総資産の主な変動要因は、現金及び預金の増加1,151百万円、受取手形及び売掛金の減少1,269百万円、電子記録債権の増加760百万円によるものです。

負債の主な変動要因は、短期借入金の増加1,161百万円、支払手形及び買掛金の減少897百万円、電子記録債務の増加880百万円によるものです。

純資産の主な変動要因は、為替換算調整勘定の減少1,301百万円、自己株式の増加512百万円、その他有価証券評価差額金の増加387百万円によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、13,837百万円となり、前連結会計年度末より1,094百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期の営業活動による資金の増加は、2,218百万円(前年同期間は1,312百万円の増加)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益674百万円、仕入債務の増加額652百万円、減価償却費533百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期の投資活動による資金の減少は、493百万円(前年同期間は549百万円の減少)となりました。これは主に、生産設備等の有形固定資産の取得による支出350百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期の財務活動による資金の増加は、3百万円(前年同期間は173百万円の増加)となりました。これは主に、短期借入金の増加額1,371百万円、配当金の支払額560百万円、自己株式の取得による支出512百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2017年3月期の業績予想につきましては、2016年4月27日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しています。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2016年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,213	14,365
受取手形及び売掛金	20,393	19,124
電子記録債権	3,412	4,173
商品及び製品	5,757	5,656
仕掛品	3,245	3,308
原材料及び貯蔵品	7,042	6,876
未成工事支出金	249	146
未収入金	360	405
繰延税金資産	762	901
その他	925	823
貸倒引当金	△24	△22
流動資産合計	55,339	55,759
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,483	9,176
機械装置及び運搬具(純額)	2,833	2,747
土地	6,450	6,441
建設仮勘定	516	298
その他(純額)	1,104	1,115
有形固定資産合計	20,388	19,778
無形固定資産	489	472
投資その他の資産		
投資有価証券	5,382	5,822
繰延税金資産	651	562
その他	2,712	2,684
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	8,728	9,051
固定資産合計	29,606	29,302
資産合計	84,945	85,061

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2016年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,701	11,803
電子記録債務	1,922	2,802
短期借入金	6,816	7,977
未払法人税等	220	315
繰延税金負債	3	1
役員賞与引当金	89	23
その他	4,085	4,563
流動負債合計	25,839	27,489
固定負債		
長期借入金	514	394
リース債務	304	277
繰延税金負債	0	2
再評価に係る繰延税金負債	840	840
退職給付に係る負債	5,347	5,317
固定負債合計	7,007	6,834
負債合計	32,846	34,323
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,926	9,926
資本剰余金	11,460	11,460
利益剰余金	29,998	29,996
自己株式	△919	△1,431
株主資本合計	50,466	49,952
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,220	1,607
土地再評価差額金	936	936
為替換算調整勘定	1,365	64
退職給付に係る調整累計額	△1,895	△1,827
その他の包括利益累計額合計	1,626	780
非支配株主持分	6	5
純資産合計	52,099	50,738
負債純資産合計	84,945	85,061

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)
売上高	20,596	17,895
売上原価	15,712	13,701
売上総利益	4,884	4,194
販売費及び一般管理費	3,344	3,151
営業利益	1,540	1,043
営業外収益		
受取利息	9	6
受取配当金	69	76
為替差益	25	-
その他	60	48
営業外収益合計	164	131
営業外費用		
支払利息	16	9
為替差損	-	386
その他	8	3
営業外費用合計	25	399
経常利益	1,679	774
特別損失		
投資有価証券評価損	-	100
特別損失合計	-	100
税金等調整前四半期純利益	1,679	674
法人税、住民税及び事業税	614	375
法人税等調整額	△106	△257
法人税等合計	508	117
四半期純利益	1,171	556
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,171	556

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)
四半期純利益	1,171	556
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	134	387
為替換算調整勘定	329	△1,301
退職給付に係る調整額	49	68
その他の包括利益合計	514	△846
四半期包括利益	1,685	△289
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,684	△289
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,679	674
減価償却費	462	533
売上債権の増減額 (△は増加)	2,791	△67
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,965	△171
仕入債務の増減額 (△は減少)	△267	652
その他	478	811
小計	3,179	2,432
法人税等の支払額	△1,925	△286
その他	58	71
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,312	2,218
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△567	△350
その他	18	△142
投資活動によるキャッシュ・フロー	△549	△493
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,097	1,371
長期借入れによる収入	21	-
長期借入金の返済による支出	△295	△261
配当金の支払額	△559	△560
自己株式の取得による支出	△3	△512
その他	△87	△33
財務活動によるキャッシュ・フロー	173	3
現金及び現金同等物に係る換算差額	174	△634
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,111	1,094
現金及び現金同等物の期首残高	13,151	12,743
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,262	13,837

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					
	日本	北米	ヨーロッパ	東アジア	東南アジア	計
売上高						
外部顧客への売上高	14,406	2,165	1,216	2,513	293	20,596
セグメント間の内部売上高または振替高	5,982	24	3	1,192	3,916	11,119
計	20,389	2,190	1,220	3,705	4,210	31,716
セグメント利益	1,160	64	84	156	24	1,491

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,491
セグメント間取引消去	49
四半期連結損益計算書の営業利益	1,540

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

従来、当社および国内連結子会社は一部の有形固定資産について定率法を採用していましたが、前第1四半期連結会計期間より定額法に変更しています。

この変更に伴い、従来の方法によった場合と比較して、前第1四半期連結累計期間のセグメント利益は「日本」で46百万円増加しています。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					
	日本	北米	ヨーロッパ	東アジア	東南アジア	計
売上高						
外部顧客への売上高	11,731	2,548	1,159	2,141	314	17,895
セグメント間の内部売上高または振替高	6,117	9	2	972	3,695	10,797
計	17,848	2,557	1,161	3,113	4,010	28,692
セグメント利益	499	206	75	7	102	891

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	891
セグメント間取引消去	151
四半期連結損益計算書の営業利益	1,043